

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	「災害対策」 非常災害対策については、消防による訓練のほかは、自主訓練の回数が少なく、いざというときの対応に際して全ての職員が的確な行動をとれない可能性がある。	非常災害に対する自主訓練の回数を増やすことで非常災害時に職員が取るべき行動をより深く身につけ、入居者の安心・安全を確保する。	・火災・地震に対する自主訓練をそれぞれ3回ずつ実施する。	12ヶ月
2	4	「運営推進会議を活かした取り組み」 運営推進会議は22年度中4回の開催にとどまっており、地域に対してホームの存在や取り組みを理解してもらう機会が十分に確保できていない。	22年度4回だった運営推進会議の開催回数を、23年度は6回を目標に増やすことで、地域に対する情報提供の機会を確保し、ホームの存在をよりよく知ってもらう。	・構成メンバーの集まりやすい曜日・時間帯などを詳しく把握し、スケジュール調整をスムーズに行なう。 ・認知症の基礎知識などを話題に盛り込み、参加者に興味を持ってもらう。	12ヶ月
3	2	「事業所と地域とのつきあい」 町内会に加入しているが、運営推進会議などで町内の人の話を聞いていると、安らぎの存在自体も含めてまだまだ認知されていないところがある。	こちらから出てゆくことで、地域における安らぎの認知度を高め、地域との密な関係作りに努める。	・町内会の行事にこれまで以上に職員・入居者が参加し、交流を深める。 ・町内の一斉清掃に参加し、身近なところから地域貢献を行なってゆく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。